

施工手順

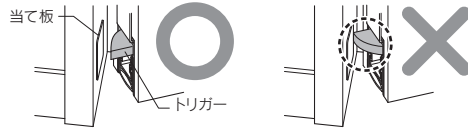
4 ドア吊込時の手順

1. 当て板を取り付ける
吊元側の縦枠に、トリガーの当たる位置へ付属の当て板を取り付ける。
2. トリガーの向きをあわせ、出寸法を調整する

トリガーの向き

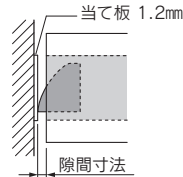
丸みをおびた部分が
あたるようにトリガーの
向きをあわせる。

注意
向きを間違えたまま
使用を続けると、
破損のおそれ
があります。



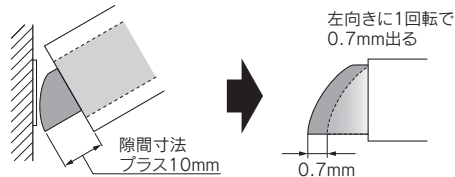
出寸法の調整

- 1 吊元側の枠とドアの隙間寸法を確認する
・当て板の厚みは1.2mmです。



- 2 トリガーの出寸法を、隙間寸法プラス10mm
付近に調整する

- ・出荷状態の出寸法は10mmです。
- ・トリガーを左に1回転につきおよそ0.7mmずつ出寸法が大きくなります。



5 作動確認

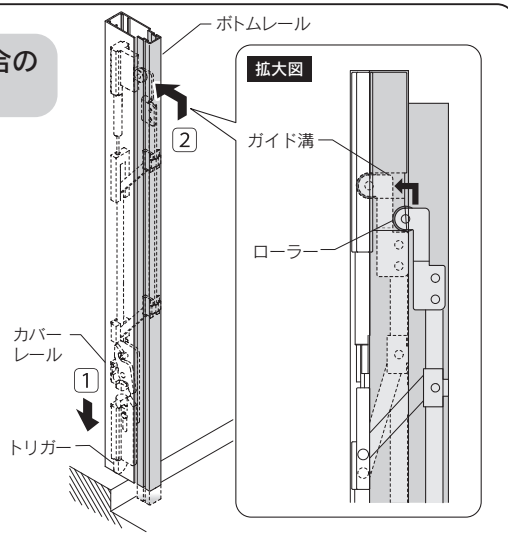
ドアを閉じて起動することを確認する。
起動しない場合はトリガーの出寸法が
不足していないか確認する。

注意

トリガーが出すぎている場合は、起動が早くなり、
閉じる手前で床を引ずります。
その場合は、トリガーの出寸法を再度調整してください。

ボトムレールが下に落ち、戻らない場合の 対処方法

トリガーを押し込んだままで、ボトムレール内部の
ローラーがカバーレール内部のガイド溝にはまる
ように戻す。



株式会社SKB 〒577-0032 大阪府東大阪市御厨1-5-3
TEL:06-6788-1518 FAX:06-6788-2056

www.skb-net.co.jp

DS121908-02

ボトムタイトADS

施工の前に、本書をよくお読みいただき、正しくご使用いただけますようお願いいたします。

注意
不用意にトリガーを
押さないでください

ボトムタイトがドアに取付され吊込まれていない状態でトリガーを強く押し込むと、装置が起動し、ボトムレールが下がりにすぎて戻らなくなる可能性があります。絶対に行わないでください。万一戻らなくなった場合は、裏面の **ボトムレールが下に落ち、戻らない場合の対処方法** で回復させてください。

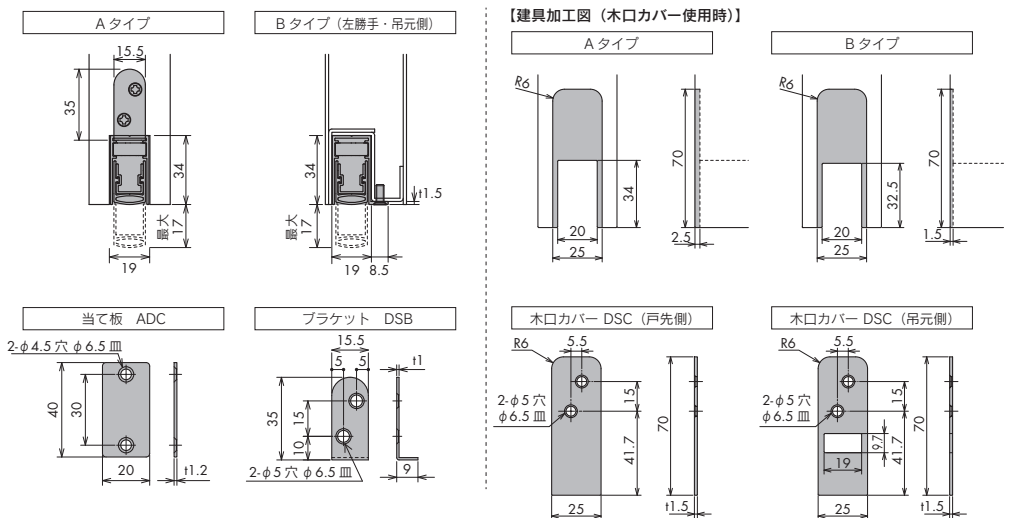
注意

・水掛かりのある場所では使用しないでください。
・ドアの変形によりレールが圧迫されると作動不良の原因になります。

セット内容

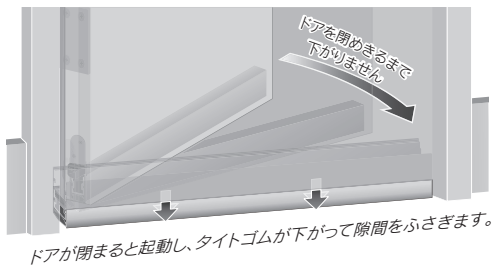
タイプ	名称・型番	入り数	タイプ	名称・型番	入り数
A	ボトムタイト本体 ADS-A 材質 レール：アルミ ゴム：シリコーンゴム	1 セット	A・B 共通	当て板 ADC	1 セット
	ブラケット DSB 材質 ステンレス 付属ねじ M4×20(D=6) 皿タッピン 4本	1 セット		材質 ステンレス 付属ねじ M4×10(D=6) 皿小ねじ [SUS]2本 3.1×16 皿木ねじ 2本	2 枚
B	ボトムタイト本体 ADS-B(L/R) 材質 レール：アルミ ゴム：シリコーンゴム 付属ねじ M4×10(D=6) 皿小ねじ [SUS]6本 3.1×16 皿木ねじ 6本	1 セット	両面テープ	2 枚	
			木口カバー DSC 戸先用・吊元用 各1枚	1 セット	
			材質 ステンレス 付属ねじ M4×20(D=6) 皿タッピン 4本		

製品寸法図



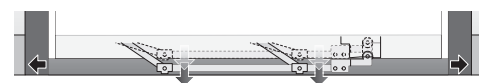
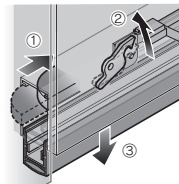
【建具加工図（木口カバー使用時）】

本製品の特長



・ドアを開めるとき 床を引きずらない新機構

吊元側のトリガーが10mm押し込まれると起動し、ダンパーを効かせながらボトムレールがゆっくり下がる構造です。

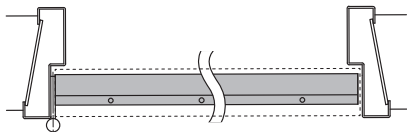


・しっかりと隙間をふさぐ独自構造

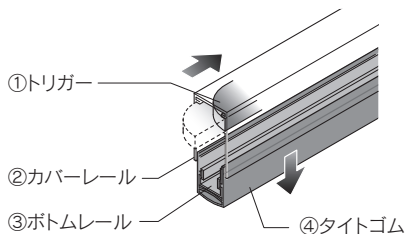
・確実に床へ接するように、垂直に降下して2点で押さえます。
・ボトムレール自体が±3mm、左右に自在に動く仕組みで、縦枠との隙間を詰めやすくしています。

Bタイプ左右勝手

Bタイプの取付位置が偏芯する場合は、左右勝手に発生します。右図は左勝手を示します。



各部の名称



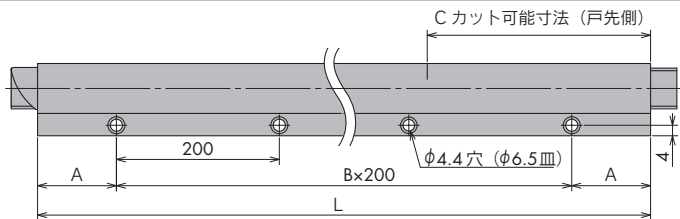
(単位:mm)

製品サイズ	対応戸幅	カット可能寸法
L=1,200	900~1,200	300以内
L=900	700~900	200以内

施工手順

1 長さの調整

1. カット寸法を決める



L	A	B	C	対応戸幅
900	50	4	200	700~900
1,200	100	5	300	900~1,200

施工手順

2 レール・タイトゴムのカット

1. レールをカットする

※必ず戸先側をカットする。

①タイトゴム(④)を吊元側(トリガー側)にスライドさせる。

②カバーレール(②)と、ボトムレール(③)の端部を合わせ、戸先側を必要な寸法でカットする。



注意 ボトムレールが左右に動くので、ずれないように注意してください。

2. タイトゴムをカットする

必要な寸法でカットする。

タイトゴム(④)を
カットする

3. タイトゴムを留める

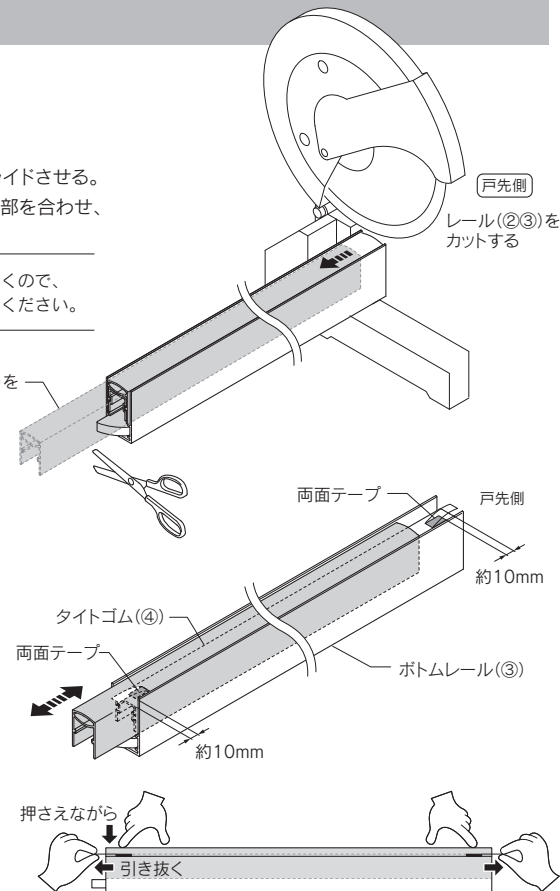
①タイトゴム(④)をスライドさせてずらし、ボトムレール(③)の端から約10mmの位置に付属の両面テープを張り付ける。

②反対側も同じ要領で両面テープを張り付ける。

③タイトゴム(④)をスライドさせて所定の位置へ合わせたら、タイトゴム(④)が動かないように押さえながら、両面テープの剥離紙を引き抜く。

※両側とも同じ要領でおこなう。

④タイトゴム(④)の上から両面テープを2~3回押さえて、ずれないように固定する。



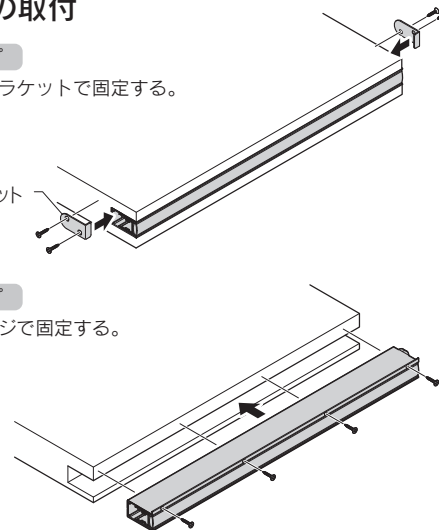
3 ドアへの取付

Aタイプ

付属のブラケットで固定する。

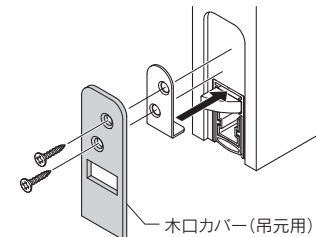
Bタイプ

付属のネジで固定する。



木口カバーを取り付ける場合

※図はAタイプで表しています。



※戸先側も同様に取り付ける。